

2016年3月1日
株式会社日本電子図書館サービス

図書館向け電子書籍 1万冊を突破！

株式会社日本電子図書館サービス（東京都千代田区、代表取締役社長：山口貴）は、取り扱う図書館向けの電子書籍コンテンツが10,000冊を超えましたのでご報告致します。

2015年4月より販売を開始した電子図書館サービス『LibrariE（ライブラリエ）』では、これまでにないラインナップを図書館向けにご提供することを念頭にサービス展開を行ってまいりましたが、このたび、販売用の電子書籍コンテンツが10,000冊超えを達成しました。

サービス開始当初より、株式会社講談社、株式会社KADOKAWA、を中心に電子書籍コンテンツの提供を頂き、既に20社超えの出版社からの電子書籍コンテンツが図書館向けに販売可能な状態となっております。

当社では、今後も日本国内の電子図書館サービスの普及の為に新刊コンテンツの収集に努め、来年度中の30,000冊の蔵書ラインナップの確保を目指しております。

■『LibrariE（ライブラリエ）』とは

以下の2つのシステムを連携運用し、独自に収集をする電子書籍コンテンツと合わせて一体的に提供している図書館向け電子書籍貸出サービスです。

- ・選書オーダリングシステム（図書館が、予算管理をしながら選書し、ライセンスを購入する機能）
- ・電子図書館システム（図書館が利用者への貸出・閲覧・予約・返却等の仕組みを提供する機能）



■電子書籍を提供頂いている出版社（五十音順・予定含む）

（株）朝倉書店、（株）朝日新聞社、（株）インプレス、学研グループ、（株）KADOKAWA、（株）紀伊國屋書店、（株）銀の鈴社、（株）研究社、（株）講談社、（株）JTBパブリッシング、（株）すばる舎、（株）ディスクヴァー・トゥエンティワン、（株）東洋経済新報社、（株）PHP研究所、（株）文藝春秋、（株）平凡社、（株）ブックブライト、（株）法研、（株）ポット出版、（株）マイナビ出版、（株）三笠書房、（株）未来社

■株式会社日本電子図書館サービスについて

株式会社紀伊國屋書店、株式会社講談社、株式会社KADOKAWAの3社が2013年10月に設立し、利用者・図書館・著作者・出版社のすべてに貢献できるルールメイキングとサービス提供を進めております。

<http://www.jdls.co.jp/>

以上

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社日本電子図書館サービス 管理グループ TEL：03-6862-8753